

(仮称)

国際交流・多文化共生基本方針

第1回 検討会議

札幌市総務局国際部

令和4年(2022年)12月5日



MÜNCHEN・SAPPORO

City of Sapporo



札幌が、もっとはじまる。

1. (仮称)国際交流・多文化共生基本方針 策定の必要性
2. 札幌市の外国人市民の動向
3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組
4. 方針策定に向けた基本的方向性
5. 基本方針策定のスケジュール
6. 市民意識調査について
7. 市民ワークショップについて

1. (仮称)国際交流・多文化共生基本方針 策定の必要性

1. (仮称)国際交流・多文化共生基本方針 策定の必要性

◆ 札幌市国際戦略プラン(2013年度～2022年度)

- ✓ 総合計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の国際化施策に関する部門別計画

【札幌市国際戦略プランで目指す国際都市像】

創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ



基本方針Ⅰ

国際競争力の獲得 ～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み

基本方針Ⅱ

多文化共生社会の実現 ～多様性と創造性の創出～

基本方針Ⅲ

海外ネットワークの活用 ～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

1. (仮称)国際交流・多文化共生基本方針 策定の必要性

◆ 今日における国際関連の動向

■ 国による外国人材の受入拡大施策に伴う外国人市民の増加

- ✓ 日本では人口減少に伴う労働力不足への対応が大きな課題
- ✓ 2019年4月に、新たな在留資格として「特定技能」を創設
- ✓ 在留資格の変更等により、中・長期にわたり、生活者として暮らす外国人が増加傾向



出典：法務省入国管理局

■ 国際情勢の変化・グローバル化の進展

- ✓ ロシアによるウクライナ侵攻など、国家間における政治・経済・軍事的な対立・競争が激化
- ✓ 一方、グローバル化の進展は著しく、世界の国々との相互協力・依存関係が高まる
- ✓ 感染症の影響も受けたが、この状況下で培われた新たな交流手段などにより、活動が多様化

■ 地球規模の課題の顕在化

- ✓ 2015年の国連サミットにおいて、持続可能な開発目標(SDGs)が採択
- ✓ 地球温暖化、気候変動、貧困など、地球規模での対応を要する課題が顕在化
- ✓ 世界の諸都市と協調・協力関係を構築し、課題解決に向けた取組を推進



➡ ✓ これらの課題に対応していくため、国際施策の方向性を示す方針が必要

1. (仮称)国際交流・多文化共生基本方針 策定の必要性

◆ (仮称)国際交流・多文化共生基本方針の位置付け

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン<総合計画>
(2022年度~2031年度)

(2022年度策定)

ビジョン編

戦略編

(2023年度策定予定)

【まちづくりの重要概念】 <ユニバーサル>

多様性が強みとなる社会の実現

【基本目標6】

互いに認め合い、支えあうまち

✓国籍・民族・宗教・文化等の違いを互いに認め、尊重し合う、平和で包摂的な社会を目指す

✓国籍を超えた交流などにより、相互の信頼や協力が得られる社会

国際交流・多文化共生等
に関する事項

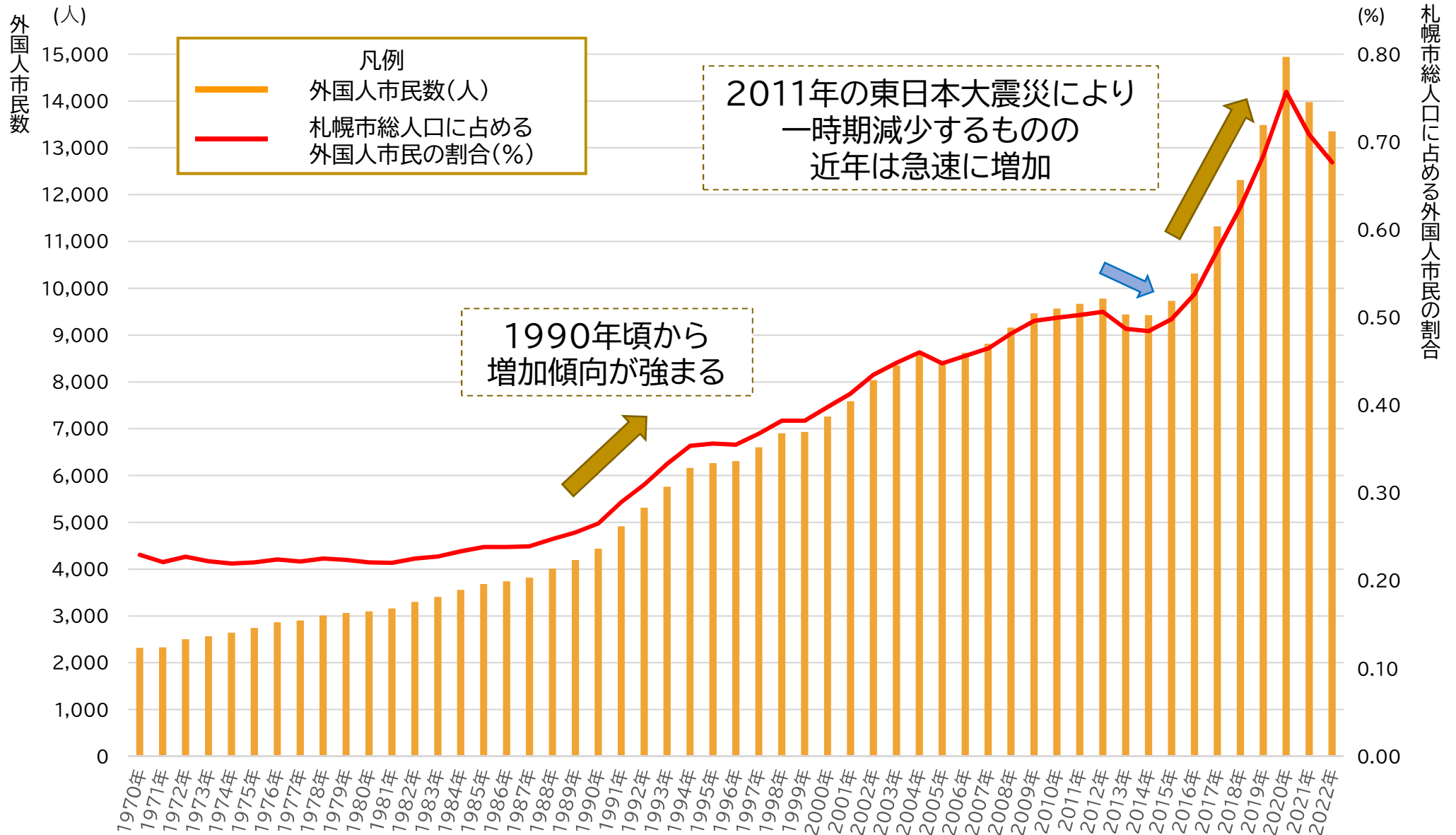
(仮称)国際交流・多文化共生基本方針

個別施策・個別事業への反映・実施

2. 札幌市の外国人市民の動向

2. 札幌市の外国人市民の動向

◆ 札幌市の外国人市民数の推移(1970～)



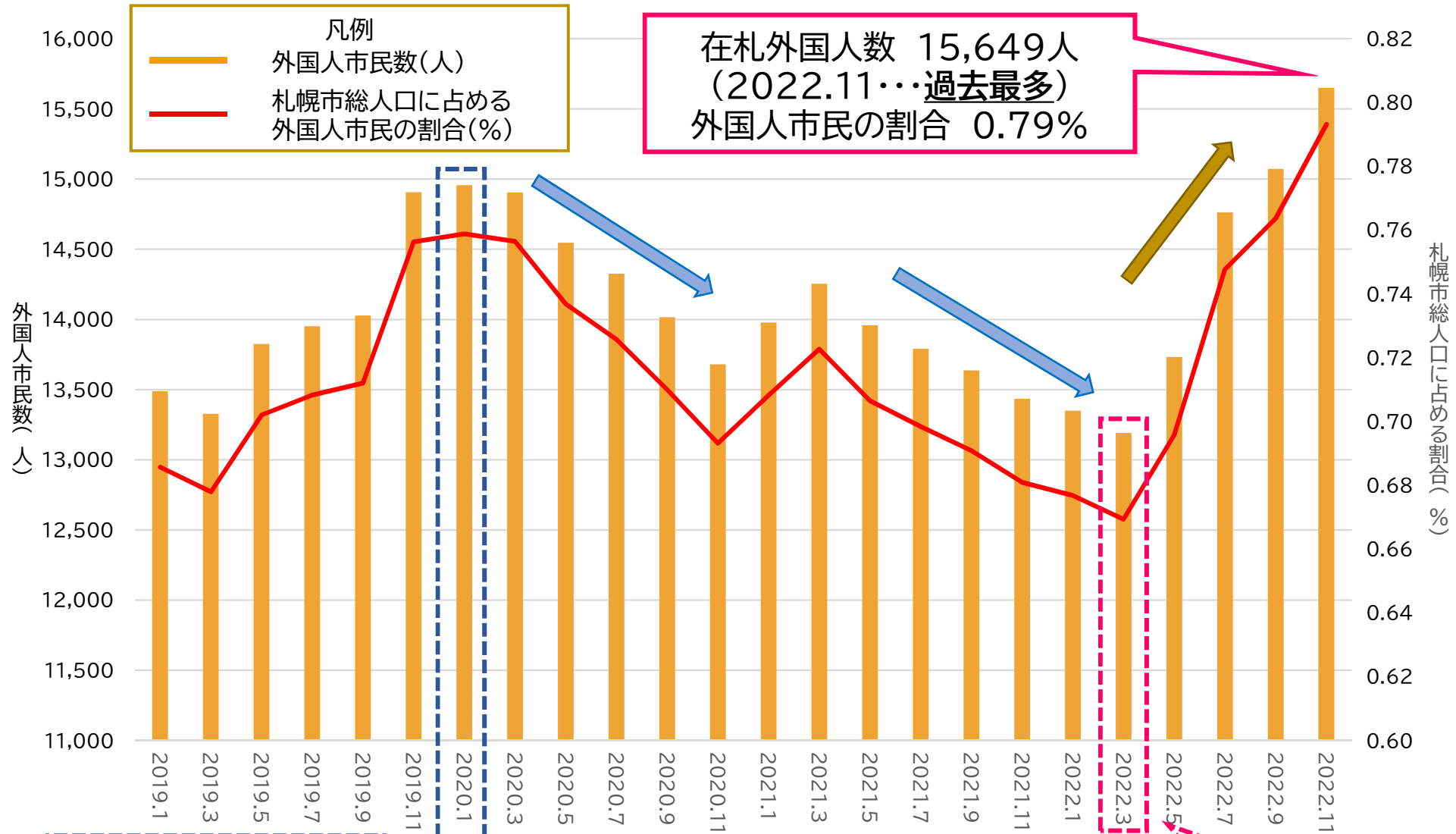
出典:札幌市統計書

※1 外国人市民数は、各年1月1日時点の住民基本台帳(2013年以降)又は外国人登録者数(2012年以前)

※2 札幌市人口は、国勢調査の数値を基礎に、毎月の住民基本台帳による人口の増減を加えて算出した推計人口

2. 札幌市の外国人市民の動向

◆ 札幌市の外国人市民数の推移(2019.1～)



新型コロナウイルス感染症が日本国内で発生

日本政府 入国に係る水際措置の段階的緩和を開始(2022/4/6)

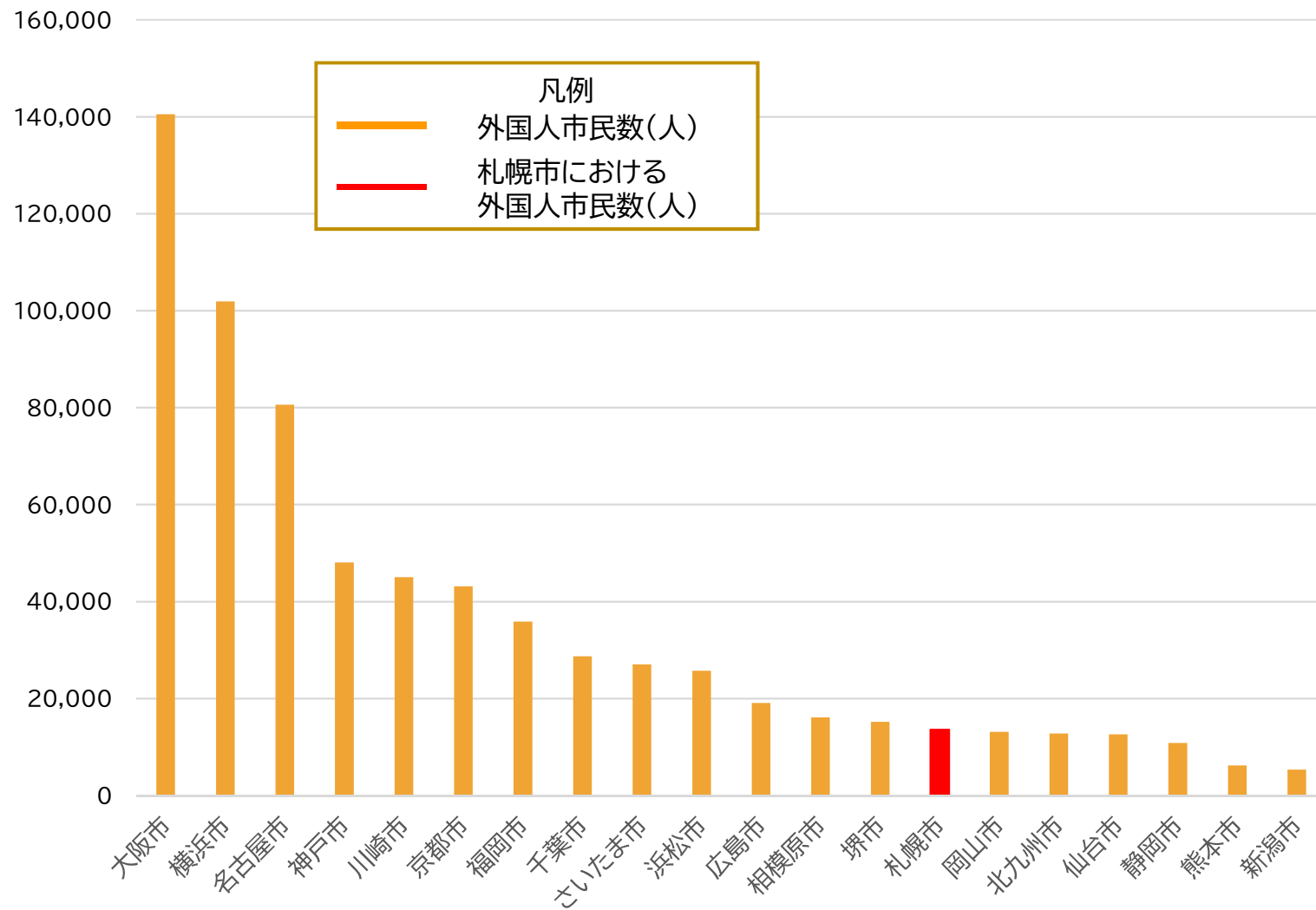
出典:人口統計(札幌市まちづくり政策局政策企画部企画課)

※1 外国人市民数は、住民基本台帳

※2 札幌市総人口は、国勢調査の数値を基礎に、毎月の住民基本台帳による人口の増減を加えて算出した推計人口

2. 札幌市の外国人市民の動向

◆ 政令指定都市間における外国人市民数の比較(2021年12月)



大阪市	5.13%	さいたま市	2.04%
名古屋市	3.50%	岡山市	1.85%
浜松市	3.21%	堺市	1.82%
神戸市	3.15%	広島市	1.60%
京都市	3.08%	静岡市	1.56%
川崎市	2.96%	北九州市	1.35%
千葉市	2.94%	仙台市	1.18%
横浜市	2.71%	熊本市	0.85%
福岡市	2.30%	札幌市	0.69%
相模原市	2.24%	新潟市	0.68%
全国	2.18%		

出典:在留外国人統計 統計表
(法務省出入国管理庁)
※ 政令指定都市の総人口は、
2021.1時点の数で算出

- ✓ 近年、札幌市の外国人市民数は増加しているが、政令指定都市間で比較すると、外国人市民数、総人口に占める外国人市民の割合、どちらも大きくはない

2. 札幌市の外国人市民の動向

◆ 札幌市における国籍別の外国人市民数

国籍別外国人市民数-2012 上位10カ国			
順位	国名	在札幌市民数	外国人市民に占める割合
1	中国	3,700	39.1%
2	韓国	2,203	23.3%
3	米国	506	5.4%
4	朝鮮	404	4.3%
5	フィリピン	306	3.2%
6	ロシア	282	3.0%
7	英国	164	1.7%
8	オーストラリア	134	1.4%
9	インドネシア	130	1.4%
10	ネパール	124	1.3%
⋮			
23	ベトナム	36	0.4%
⋮			
29	ミャンマー	17	0.2%

国籍別外国人市民数-2022 上位10カ国				
順位	国名	在札幌市民数	外国人市民に占める割合	在札幌市民数の10年前との比較
1	中国	4,759	30.9%	+28.6%
2	韓国	2,367	15.4%	+7.4%
3	ベトナム	1,765	11.4%	+4,802.8%
4	米国	689	4.5%	+36.2%
5	ミャンマー	575	3.7%	+3,282.4%
6	台湾	553	3.6%	+521.3%
7	フィリピン	534	3.5%	+74.5%
8	ネパール	475	3.1%	+283.7%
9	インドネシア	405	2.6%	+211.5%
10	ロシア	301	2.0%	+6.7%

出典:札幌市住民基本台帳
 (デジタル戦略推進局スマートシティ推進部住民情報課) 2022.10時点。
 10年前との比較については2012.10との比較。

✓ 10年前(2012年)と比較すると、ベトナム、ミャンマー出身の外国人市民数の伸びが顕著

2. 札幌市の外国人市民の動向

◆ 札幌市における在留資格別の外国人市民数

在留資格別外国人市民数-2012 上位10種別			
順位	在留資格	在札市民数	外国人市民に占める割合
1	永住者	2,230	23.6%
2	留学	2,111	22.3%
3	特別永住者	1,686	17.8%
4	家族滞在	894	9.5%
5	日本人の配偶者等	700	7.4%
6	技術・人文知識・国際業務	549	5.8%
7	教授	215	2.3%
8	技能	178	1.9%
9	定住者	163	1.7%
10	技能実習	125	1.3%

在留資格別外国人市民数-2022 上位10種別				
順位	在留資格	在札市民数	外国人市民に占める割合	在札市民数の10年前との比較
1	永住者	3,295	21.4%	+47.8%
2	留学	3,164	20.5%	+49.9%
3	技能実習	1,714	11.1%	+1,271.2%
4	特別永住者	1,550	10.1%	▲11.0%
5	技術・人文知識・国際業務	1,427	9.3%	+159.9%
6	家族滞在	1,117	7.2%	+24.9%
7	日本人の配偶者等	904	5.9%	+29.1%
8	特定技能	444	2.9%	—
9	特定活動	343	2.2%	+239.6%
10	教授	214	1.4%	▲0.5%

出典：札幌市住民基本台帳(デジタル戦略推進局スマートシティ推進部住民情報課) 2022.10時点。

10年前との比較については2012.10との比較。2012年の「技術・人文知識・国際業務」は「人文知識・国際業務」と「技術」の合計

※ 在留資格別外国人市民数における在留資格「技能実習」は、「技能実習1～2号」(2012)、「技能実習1～3号」(2022)のイ及びロの総計。

- ✓ 在留資格別の人数では、10年前(2012年)と比較すると「技能実習」による増加が著しく、その他、「技術・人文知識・国際業務」や「特定活動」の資格を持つ外国人市民が増加

3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 目指す国際都市像

創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ

◆ 3つの基本方針



基本方針Ⅰ

国際競争力の獲得
～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み～

基本方針Ⅱ

多文化共生社会の実現
～多様性と創造性の創出～

基本方針Ⅲ

海外ネットワークの活用
～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組 I 国際競争力の獲得 ～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み～

■ 海外へのシティプロモート

- ベトナムにおける認知度向上の取組



- インドネシアにおけるプロモーション



■ 国際人材の育成・留学生の誘致

- 留学生と日本人高校生の交流事業の実施



- 留学生の誘致に向けたパンフ・PR動画の作成 (英語、中国語、韓国語、インドネシア語)



3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 目指す国際都市像

創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ

◆ 3つの基本方針



基本方針Ⅰ

国際競争力の獲得
～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み～

基本方針Ⅱ

多文化共生社会の実現
～多様性と創造性の創出～

基本方針Ⅲ

海外ネットワークの活用
～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組 II 多文化共生社会の実現 ～多様性と創造性の創出～

■ 多文化共生の推進

- さっぽろ外国人相談窓口の開設(2019.11)

想定相談者

外国人生活者

在留外国人の
日本人の友人知人

在留外国人の属する
コミュニティ・教会

在留外国人の
支援者・支援団体

在留外国人の
受入団体

中長期滞在旅行者

市役所関係者

さっぽろ外国人相談窓口
(公財)札幌国際プラザに設置)

- 在留資格、子育て・教育、福祉、医療、雇用など暮らしに関わる情報提供や相談を多言語で行う総合相談窓口
- やさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語のほか電話通訳サービスを活用し
21言語に対応



【相談実績】

2019年：94件

2020年：769件

2021年：1,231件

2022年：551件(7月末)

✓ 相談件数は増加傾向

3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組 II 多文化共生社会の実現 ～多様性と創造性の創出～

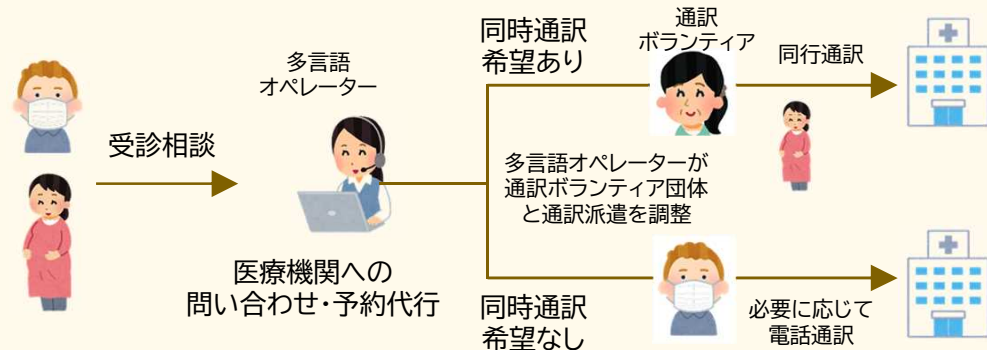
■ 日本語学習等の支援

- 「はじめてのにはんごくらす」
- ✓ 日本語を初めて勉強する人のための教室
- 生活オリエンテーションの実施



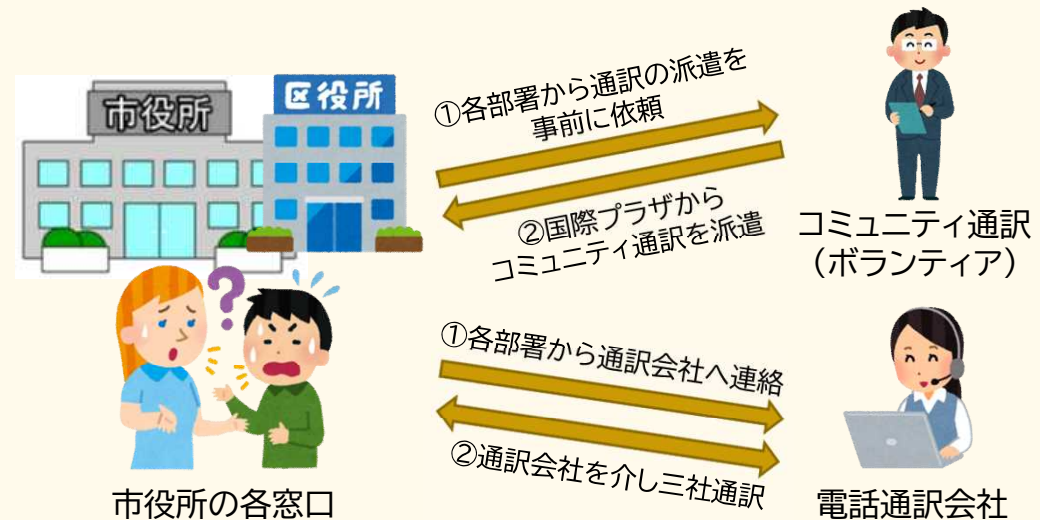
■ 医療支援

- 医療通訳派遣制度の整備
- ✓ 医療機関の予約代行や医療通訳の派遣調整、電話通訳等を一貫して行うモデル事業を実施



■ 多言語対応

- 行政サービスの多言語発信
- ✓ 外国人に必要な暮らしの情報を多言語で発信する、相談窓口ホームページを開設
- 行政窓口における多言語支援
- ✓ 市役所や区役所の窓口において、「さっぽろコミュニティ通訳」「多言語電話通訳サービス」を実施



3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組 II 多文化共生社会の実現 ～多様性と創造性の創出～

■ 災害時の外国人支援

- 札幌災害外国人支援チーム『SAFE』の養成
“Sapporo Assistance for Foreigners in Emergencies”
- ✓ 災害時に公助の側に立って情報発信や避難所等での外国人被災者支援を行う
- ✓ 平常時には災害に係る情報発信を行うなど、普及啓発活動を実施
- ✓ 2022年度は第3期メンバーを育成中。年度末にはメンバーは20カ国49名となる予定



■ 外国人市民のまちづくりへの参画

- さっぽろ外国人市民パートナー
- ✓ 外国人市民が、ボランティア活動や地域のまちづくり事業に参画する仕組みを構築
- ✓ 外国人市民と日本人市民の相互理解を促進するほか、外国人市民の目線やアイデアを生かしたまちづくりにつなげる



3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 目指す国際都市像

創造性と活力あふれ、誰もが住みたくなる国際都市さっぽろ

◆ 3つの基本方針



基本方針Ⅰ

国際競争力の獲得
～札幌の魅力発信と海外活力の取り込み～

基本方針Ⅱ

多文化共生社会の実現
～多様性と創造性の創出～

基本方針Ⅲ

海外ネットワークの活用
～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組 III 海外ネットワークの活用 ～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

■ 世界冬の都市市長会の運営

・ 世界冬の都市市長会(WWCAM:World Winter Cities Association for Mayors)

- ✓ 「冬は資源であり、財産である」というスローガンの下、世界中の冬の都市が集まり、冬の技術や経験、取り組みを学び合うネットワーク
- ✓ 1981年に札幌市が提唱し、翌年に1回目の市長会議を開催
- ✓ 設立当初から会長は札幌市長が務め、札幌市国際部に事務局が置かれている
- ✓ 世界9カ国22都市が会員都市(2022年12月現在)



- ✓ 2016年には、第1回会議以来、34年ぶりに札幌市で市長会議を開催
- ✓ 2021年の第19回会議は、コロナによる影響で初のオンライン開催



■ 第19回 世界冬の都市市長会議

【開催都市】 フィンランド・ロヴァニエミ市(オンライン開催)

【メインテーマ】 寒冷気候の冬の年における高齢化社会

- ✓ 政策研究会・分科会を初めて開催し、発表・意見交換を実施
- ✓ 会議全体を総括するロヴァニエミ宣言を採択



3.「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 基本方針ごとの取組

Ⅲ 海外ネットワークの活用 ～未来へつなぐ世界との互恵的協力関係の構築～

■ 札幌市の姉妹・友好都市

ポートランド市(アメリカ)
1959(S34).11.17
姉妹都市提携



ミュンヘン市(ドイツ)
1972(S47).8.28
姉妹都市提携



瀋陽市(中国)
1980(S55).11.18
友好都市提携



ノボシビルスク市(ロシア)
1990(H2).6.13
姉妹都市提携



MÜNCHEN・SAPPORO

2022年は
ミュンヘン市との
姉妹都市提携50周年

- ・ 市長らがミュンヘン市を訪問
- ・ ミュンヘン市訪問団を今後受け入れ予定
- ・ 50周年記念事業を展開

大田広域市(韓国)
2010(H22).10.22
姉妹都市提携



3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 国際交流・国際協力の取組

■ JETプログラム(The Japan Exchange and Teaching Programme)

- JETプログラムとは
- ✓ 総務省、外務省、文部科学省及び(一財)自治体国際化協会の協力の下、地方自治体等が外国青年を任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流推進を図る事業
- ✓ 本市では、本プログラムを通じてALT(外国語指導助手)のほか、CIR(国際交流員)を任用

【国際交流員:CIR】(Coordinator for International Relations)

- 地方公共団体等において国際交流活動に従事
- 各種国際交流関係業務のほか、小・中学校などにおいて異文化理解促進のための活動を実施
- 札幌市では、ドイツ、ロシア、韓国、イギリス出身のCIR(5名)を任用(2022年11月時点)



3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 国際交流・国際協力の取組

■ 札幌国際交流館



【住所】 札幌市白石区本通16丁目南4-26

【開設】 1996年(平成8年)4月

【施設内容】 体育室、プール、ホール

- 地域の国際交流の拠点施設として、国際協力事業団 北海道国際センター(現:国際協力機構 北海道センター)に隣接して設置
- スポーツ施設運営のほか、スポーツ、文化を通じた日本人・外国人市民の交流事業を実施

■ 札幌市留学生交流センター



【住所】 札幌市豊平区豊平6条6丁目5-35

【開設】 2000年(平成12年)4月

【部屋数】 単身用:80室 世帯用:20室

- 札幌市内や近郊の大学、専修学校等に通う留学生に良質で快適な住まいを提供
- 留学生と市民の交流機会を創出

3. 「札幌市国際戦略プラン」期間の取組

◆ 国際交流・国際協力の取組

■ 札幌国際プラザ

【住所】 札幌市中央区北1条西3丁目
札幌MNビル 3階

【開設】 1987年(昭和62年)6月

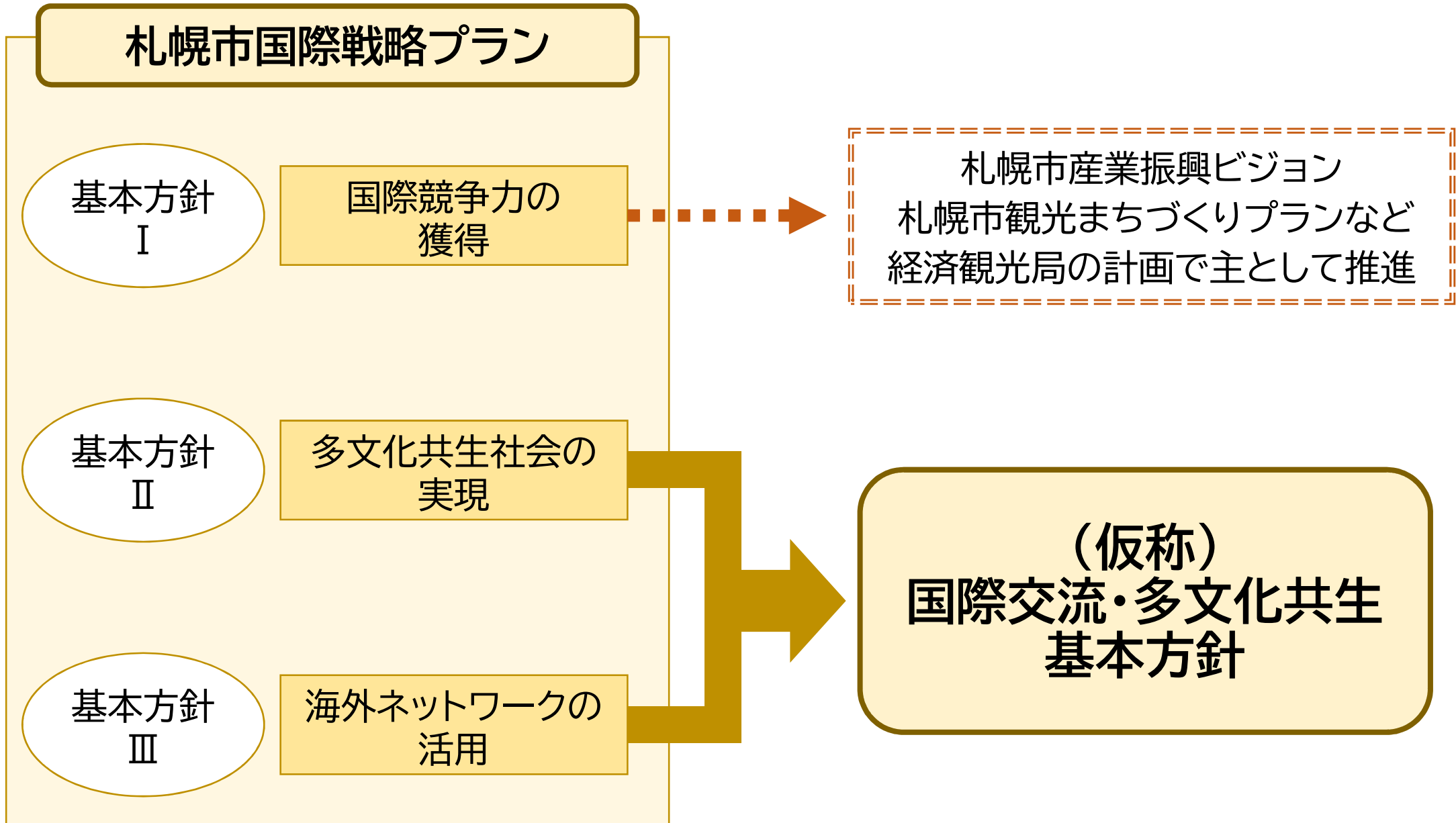
- 札幌市の出資団体として設立
- 札幌市の国際化を広く推進し、市民・企業・行政を結ぶコーディネート機能を果たす
- 市民交流、多文化共生、コンベンションなど幅広い分野にわたって事業を展開
- さっぽろ外国人相談窓口の運営や、SAFEに係る活動を実施するなど、札幌市の国際化に資する様々な取組の重要な担い手



4. 方針策定に向けた基本的方向性

4. 方針策定に向けた基本的方向性

◆ (仮称)国際交流・多文化共生基本方針のイメージ

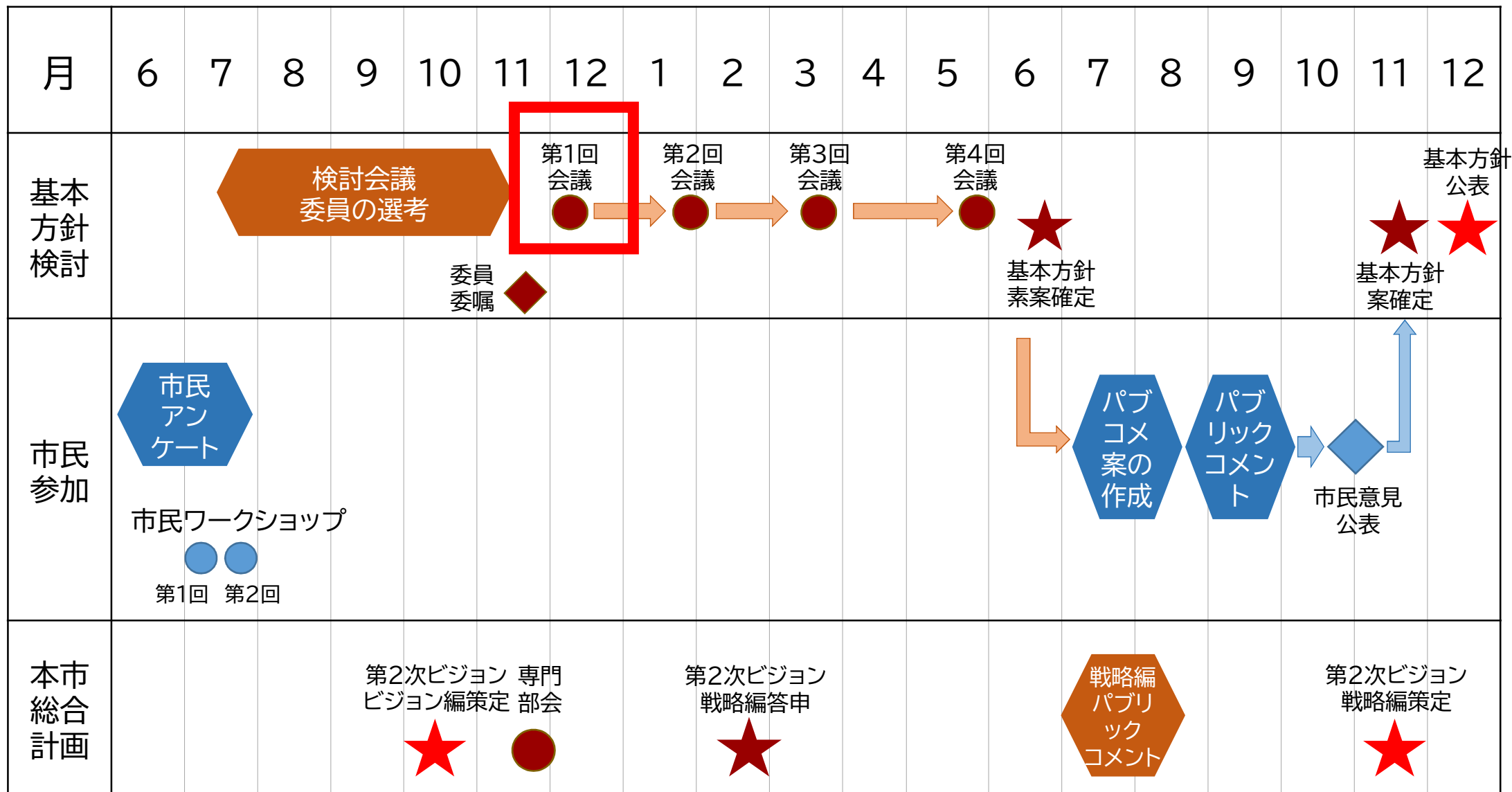


5. 基本方針策定のスケジュール

5. 基本方針策定のスケジュール

2022年度(令和4年度)

2023年度(令和5年度)





6. 市民意識調査について

6. 市民意識調査について

◆ 日本人市民・外国人市民への市民意識調査の実施

■ 調査概要

1. 調査対象

札幌市在住かつ18歳以上の

日本人市民 2,000名

外国人市民 2,000名

2. 調査方法

郵送及びWebによる回答(Googleフォーム)

3. 調査期間

2022年6月中旬～7月中旬

4. 回収結果

総回収数 772件(回収率:19.3%)

日本人市民 500件(回収率:25.0%)

外国人市民 272件(回収率:13.6%)

国際交流及び多文化共生に関する市民意識調査

札幌市に暮らす外国人市民は、2022年5月現在、13,731人で、10年前と比較しておよそ1.4倍に増えています。さまざまな分野で外国人材が求められる中、今後もさらに、市民として地域に暮らす外国人が増えるものと予想されます。

札幌市は、公益財団法人札幌国際プラザ(※1)と連携し、姉妹・友好都市(※2)などとの交流を通じて、市民の皆様へ異文化に対する理解を深めていただくとともに、地域で暮らす外国人市民の皆様にとっても暮らしやすいまちづくりを進めることで、国籍や民族に関係なく誰もが活躍できる多文化共生のまちづくり(※3)を進めています。

こうした取組について札幌市にお住まいの方を対象に、ご意見やお考えをお聞きするアンケート調査を実施します。

調査結果は、令和5年度に策定予定の「(仮称)札幌市国際交流・多文化共生基本方針」や札幌市の国際施策の参考資料としますので、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

※公益財団法人札幌国際プラザ

国際交流の促進やコンベンション事業の推進等を図り、地域経済の活性化・文化の向上及び国際理解を深めることを目的として、平成3年7月に財団法人として設立(平成23年公益財団法人へ移行)。国際交流に関する人材育成、関係団体への支援・連携、海外からの観光客や外国人市民へ多言語での情報提供など、多文化共生を促進しながら国際都市にふさわしいまちづくりを進めている。

※姉妹・友好都市

札幌市では、ポートランド市(アメリカ)、ミュンヘン市(ドイツ)、瀋陽市(中国)、ノボシビルスク市(ロシア)、大田広域市(韓国)と姉妹・友好都市提携を締結し、市民同士の交流が行われているほか、青少年の相互訪問やスポーツ交流、5年ごとの周年を祝う記念事業などを実施している。

※多文化共生のまちづくり

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省)。札幌市では、外国人市民の孤立防止や暮らしの不便不安を解消するため、札幌国際プラザに「さっぽろ外国人相談窓口」を開設し、外国人の生活やコミュニケーションに関する支援を行うとともに、地域における市民の異文化理解の促進などに取り組んでいる。

このアンケートは、グーグルフォームでも回答できます。
右の二次元コードからお進みください。

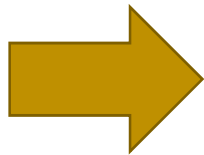
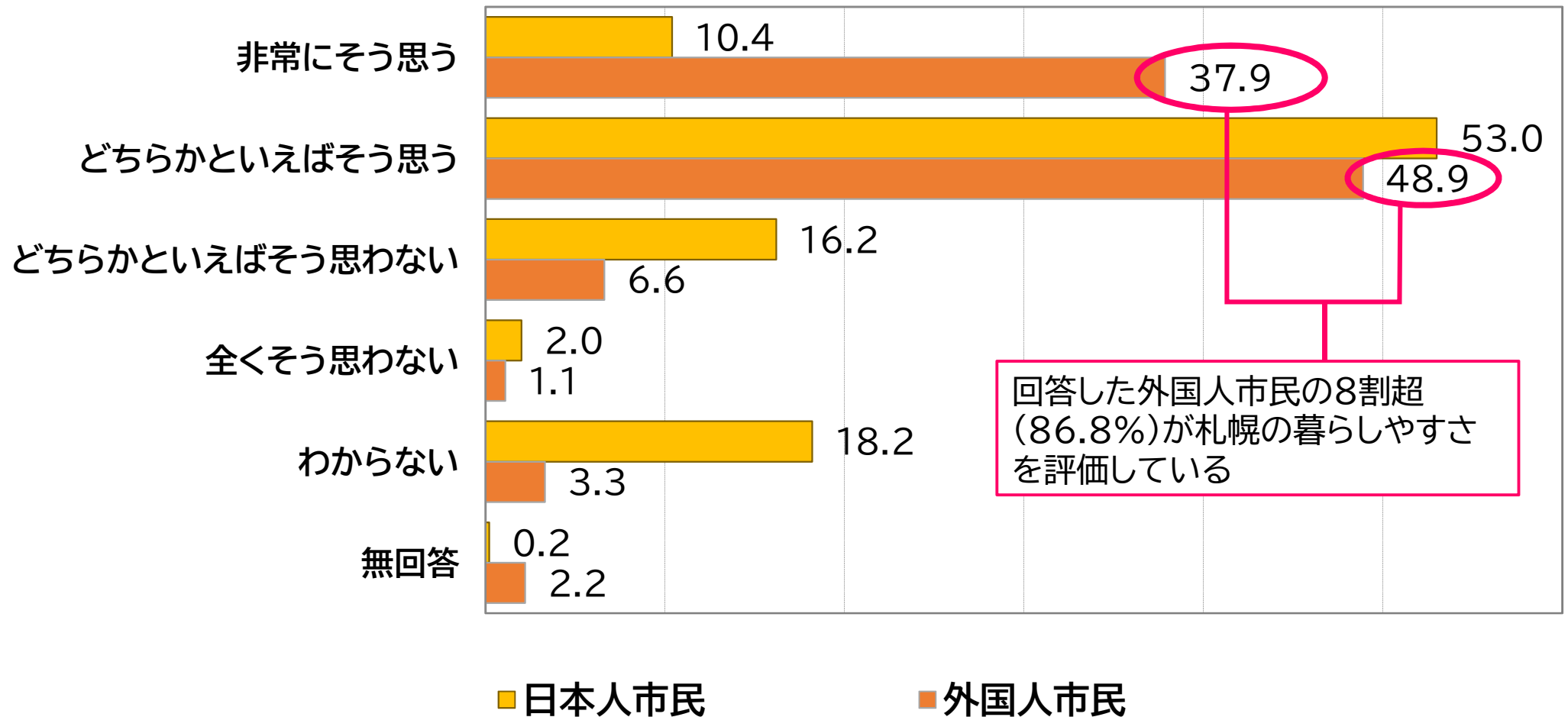


回答期限:7月8日(金)

6. 市民意識調査について

◆ 暮らしやすさへの評価(日本人市民・外国人市民共通の設問)

札幌市は、国籍などに関係なく暮らしやすいまちだと思いますか

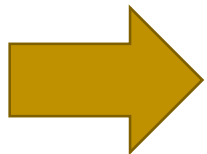
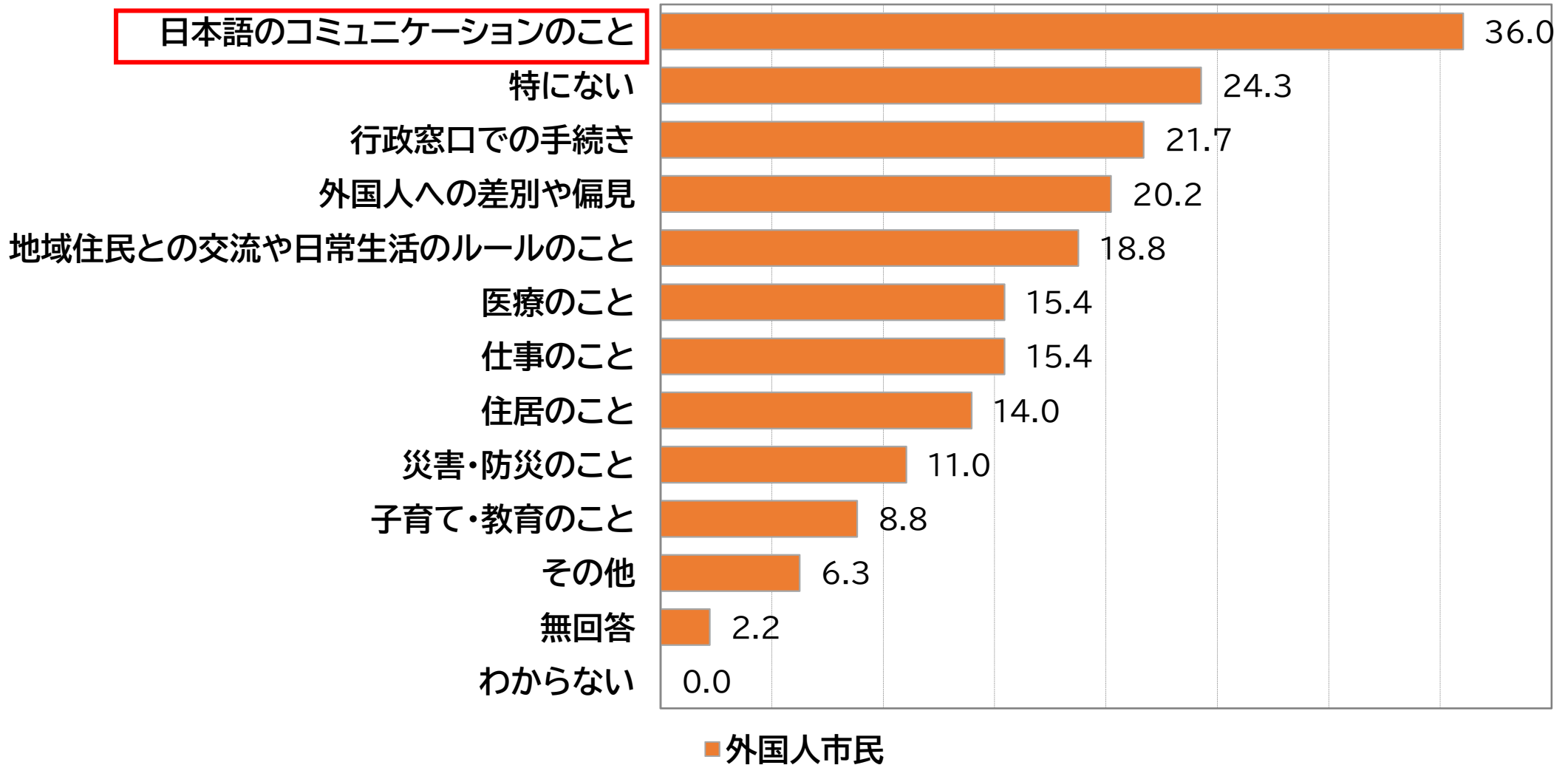


- ✓ 外国人市民からは、札幌が暮らしやすいまちであると一定の評価を得ている
- ✓ 日本人市民に比べ、外国人市民の方が暮らしやすさを感じている

6. 市民意識調査について

◆ 外国人市民の困りごと、心配事について

日本や札幌での生活で困っていること、心配なこと(複数回答)

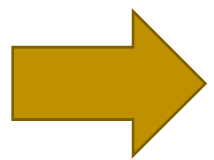
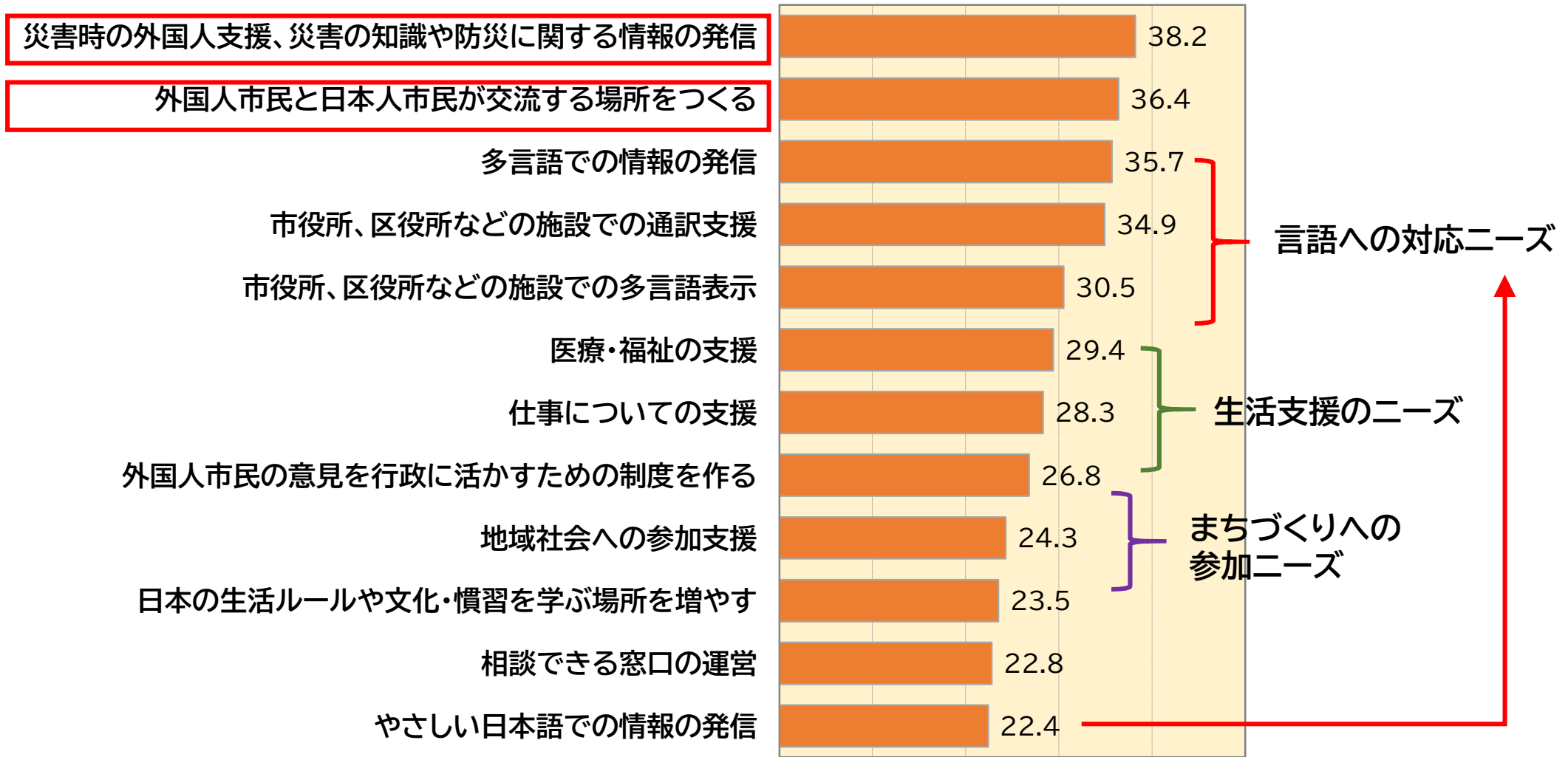


- ✓ 多くの外国人市民が日本語のコミュニケーションに困難・不安を抱えている
- ✓ 言語だけではなく、様々な場面において困っていることがうかがえる

6. 市民意識調査について

◆ 外国人市民が多文化共生に関する取組で札幌市に求めること

札幌市の多文化共生に関する取組でもっと頑張りたいと思うもの(複数回答:上位抜粋)



- ✓ 外国人市民の災害に対する危機意識は高く、情報・支援へのニーズが大きい
- ✓ 外国人と日本人の交流の「場」の創出が求められている
- ✓ 特定の分野に偏らず、生活に係るあらゆる分野への取組が期待されている

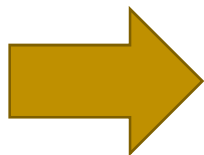
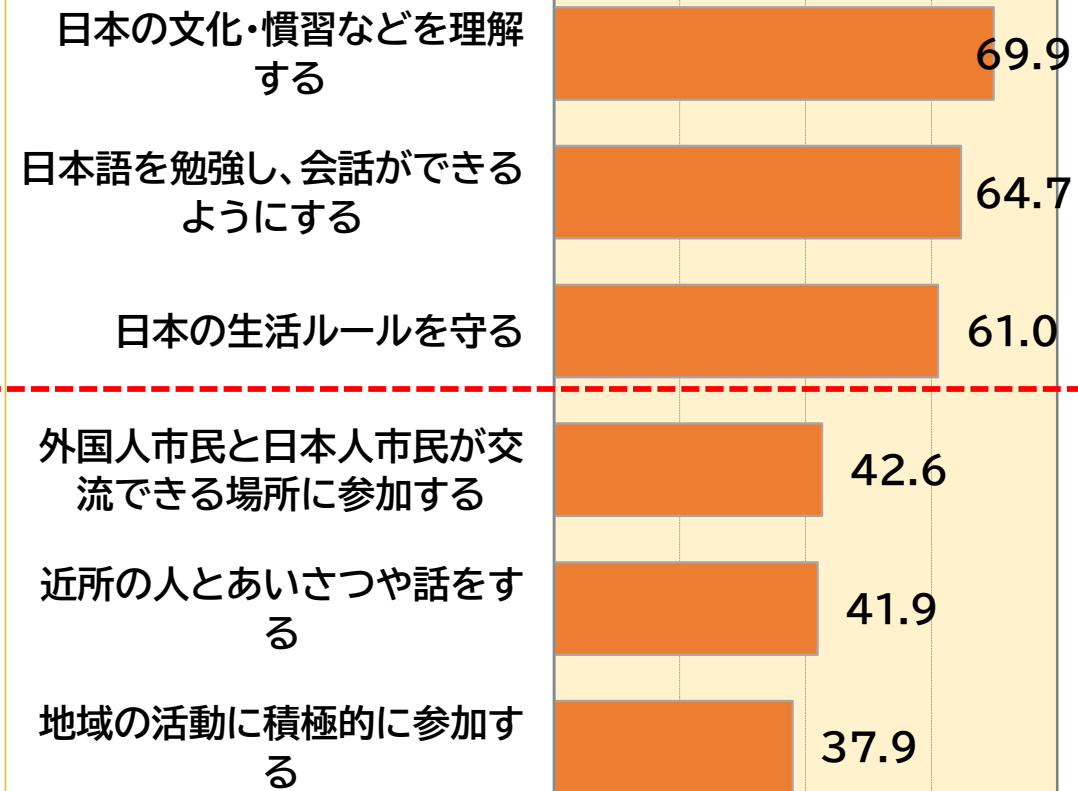
6. 市民意識調査について

◆ 多文化共生を進めるために日本人市民が外国人市民に望むこと・外国人市民ができること

日本人市民も外国人市民も暮らしやすい社会にするために、あなたが外国人市民に望むことや期待することは何ですか(日本人市民) ※上位6項目



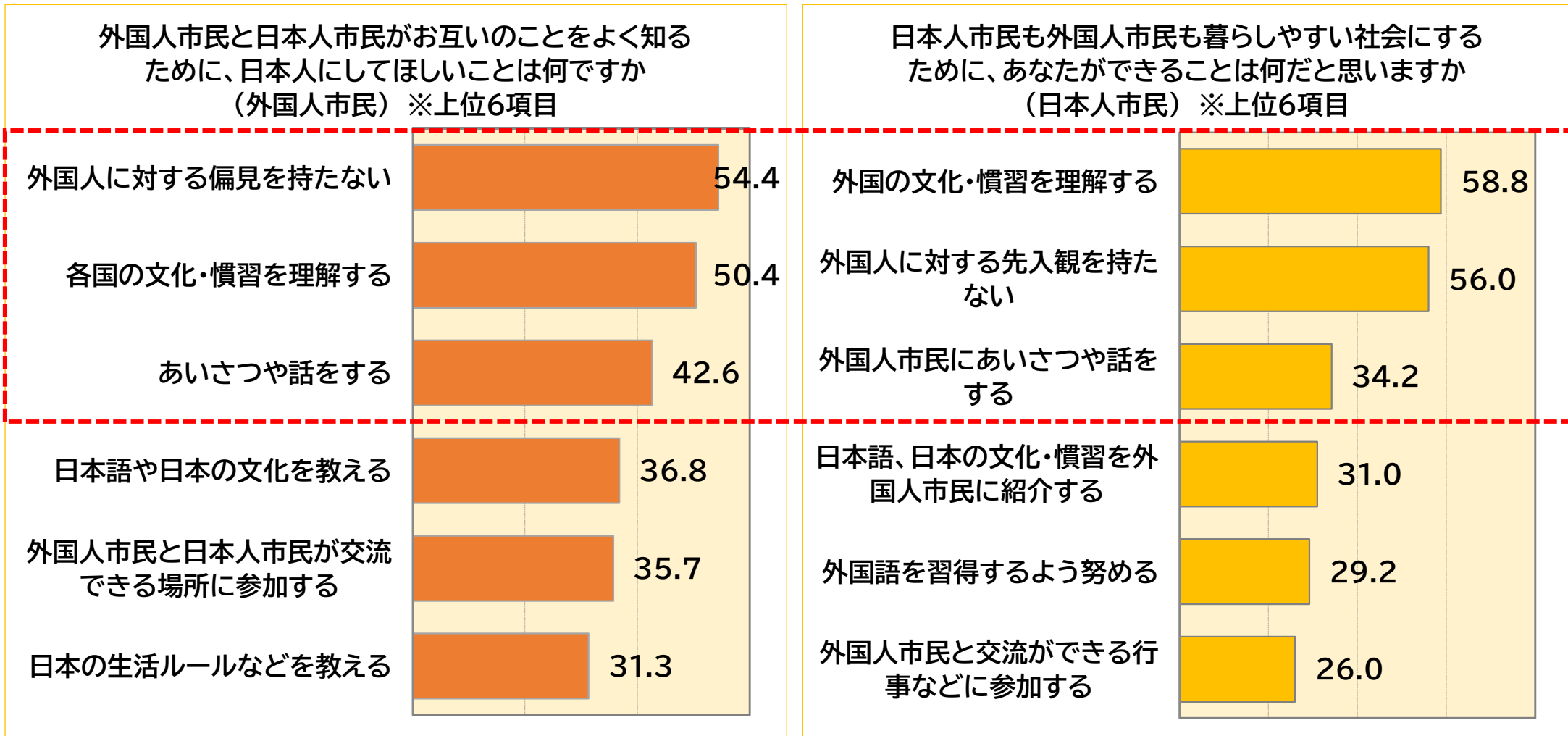
外国人市民と日本人市民がお互いのことをよく知るために、あなたができることは何だと思えますか(外国人市民) ※上位6項目



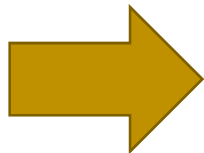
- ✓ 日本人市民が望むことは、外国人市民も相互理解のためにできることと考えている
- ✓ 「日本の文化・慣習の理解」「日本の生活ルールを守る」「日本語の習得」の3つは、多くの外国人市民が重要だと考えているし、日本人市民からのニーズも高い

6. 市民意識調査について

◆ 多文化共生を進めるために外国人市民が日本人市民に望むこと・日本人市民ができること



- ✓ 外国人市民が望むことは、日本人市民も相互理解のためにできることと考えている
- ✓ 「外国人への偏見(先入観)を持たない」「文化・慣習の理解」「あいさつや話をする」の3つは、多くの日本人市民が重要だと考えているし、外国人市民からのニーズも高い



7. 市民ワークショップについて

7. 市民ワークショップについて

◆ 市民ワークショップの実施

■ 実施概要

1. 実施日

- 1回目 2022年7月2日(土)
- 2回目 2022年7月30日(土)

2. 参加対象

- 1回目 外国人市民
- 2回目 外国人市民及び日本人市民

3. 参加人数

- 1回目 外国人市民 13名
- 2回目 外国人市民 14名
日本人市民 17名 (計31名)

4. 参加者の国籍(11カ国)

アメリカ、アルゼンチン、インド、ウクライナ、韓国、カンボジア、中国、日本、ベトナム、ミャンマー、ロシア

5. ワークショップの進め方

6人程度のグループを組み、テーマについて話し合いを行う形式

SAPPORO
こくさいこうりゅう たぶんかきょうせい
国際交流・多文化共生
しみん
市民ワークショップ
をします!



～ワークショップをする時間・人数～

1回目 外国人市民の方のみ (15人)
2022年7月2日 (土曜日)
14時から2時間くらい

2回目 外国人市民の方 (15人) と
日本人市民の方 (15人)
2022年7月30日 (土曜日)
14時から2時間くらい

参加できる方は 2022年6月17日 (金曜日)
までには、申し込んでください。
申し込みのやり方は、裏に書いてあります。

※ ワークショップは18歳以上の方が参加できます。
ワークショップは日本語でします。



01-494-22-1115
84-2-820

7. 市民ワークショップについて

◆ 1回目・・・7月2日(土)

➤ テーマ① 「札幌市の好きなおところ」

- 自然の豊かさ
- 夏の冷涼さ
- ほどよい都市の規模
- 食べ物のおいしさ など

➤ テーマ② 「札幌で不便なおところ」

- 冬の寒さ、雪による生活のしづらさ
- まちの中での英語表記の少なさ
- 公共交通の値段の高さ、移動の不便さ
- 日本人の曖昧な表現の理解
- 外国人市民の声を行政に届けられない
- 区役所に案内窓口を設けてほしい
- 銀行口座、電話、住戸の契約等が厳しい など



➤ テーマ③ 「日本人との交流の機会」

- 趣味や共通のテーマによる自然な交流
- 食べ物を通じた交流
- 英語ではなく日本語で話をしたい
- 仕事以外に日本人と接する機会がない
- 札幌市は交流イベントが少ない
- 小学校の訪問による交流 など

7. 市民ワークショップについて

◆ 2回目・・・7月30日(土)



➤ テーマ① 「外国人市民の困りごと、不安」

- 日本語力による生活の困りごと（病院、役所、保育園、コミュニケーションの不安など）
- 地震などの自然災害
- ハラール、ベジタリアンなど食べ物への対応
- 日本語を学習する機会の提供
- 交流の場やサポートを受けるための情報にたどりつけない など

7. 市民ワークショップについて

◆ 2回目・・・7月30日(土)

➤ テーマ② 「日本人市民と外国人市民が共に協力し築く地域社会」

- 国際交流の感覚に触れる機会を学生時代などから設けていく
- 「外国人」としてではなく、いち住民として対等に扱ってほしい
- 札幌市内の外国人居住者数が少なく、まだ一緒に暮らすという意識を持ちにくい
- 外国人に友達ができれば、困りごとの解決につながる。友達づくりがまずは重要

➤ テーマ③ 「多文化共生社会の実現に向けた札幌市の取組」

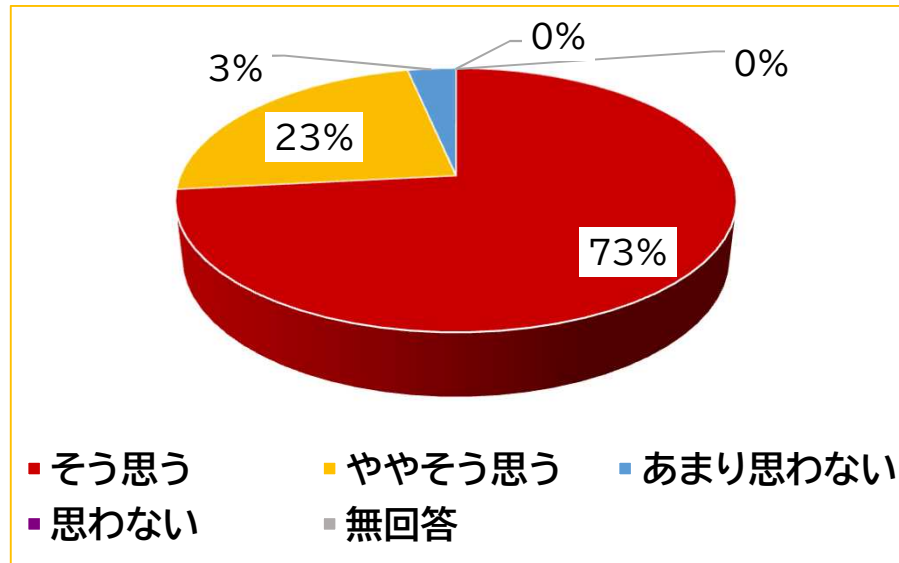
- 市の外国人支援の取組の積極的な広報
- 今回のような交流の場の定期的な提供
- 「ワールドフェスティバル」のようなお祭りの開催
- 札幌の良さ、不便さを伝える外国人インタビュー動画の作成
- 「外国人相談窓口」の日本人市民への積極的周知
- 窓口外国人対応マニュアルの徹底・研修の実施 など



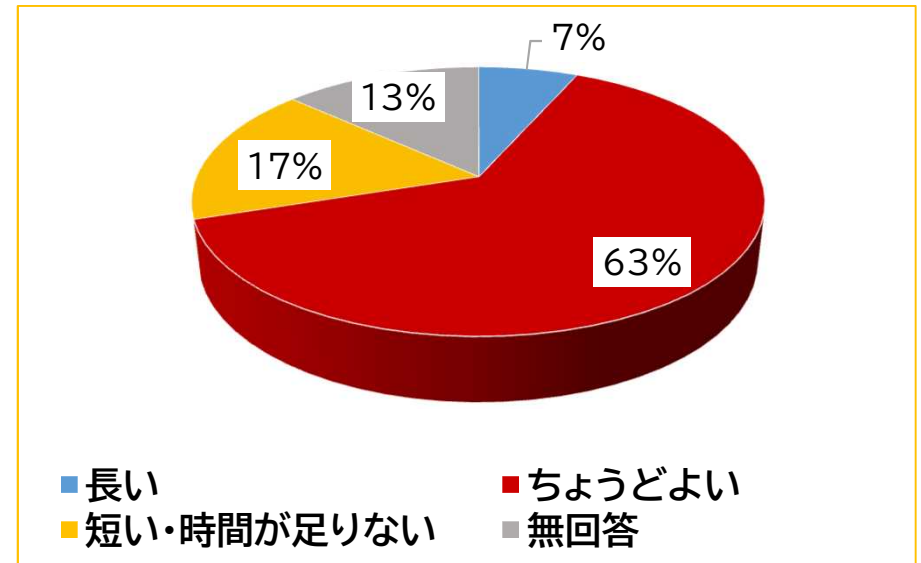
7. 市民ワークショップについて

◆ 市民ワークショップの参加者アンケート結果

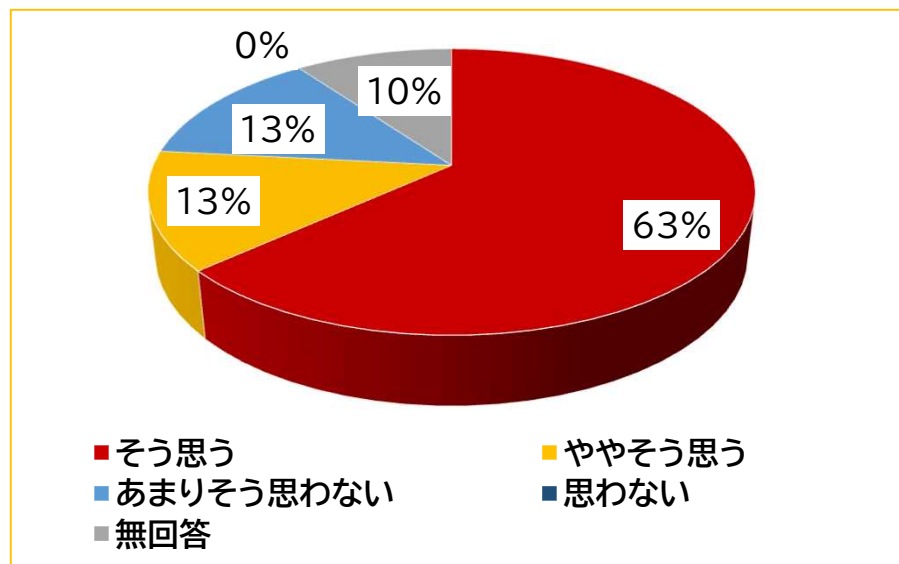
【ワークショップに参加してよかったか】



【ワークショップの時間はちょうど良かったか】



【またワークショップに参加したいか】



【自由意見まとめ】

- 様々な国の人の意見、異なる考え方を知ることができて良かった、という、好意的な意見が多かった
- テーマを決めたワークショップなど、交流の機会を期待する意見が多く出た
- 日本語がまだ得意ではないが、意見を表明できる場があって良かった、など、日本語を話す機会を求めている意見があった

